

2009 9/19 二子山中央稜

日時 : 2009 9/19
山名 : 二子山中央稜
形態 : アルパイン
メンバー: 鈴木 常谷
報告: 鈴木

「ゴミと命はもちかえり！」と書いた看板を横目にやってきました！！ 二子山中央稜アルパイン

私は2度目ですが1度は本格登山を始めて5ヶ月目の超ビギナーでしたので フォロワーに終始し
しかも雨天途中敗退しましたが 10ヶ月後のリベンジ戦
しかも今回は後輩常谷さんを連れてのリーダー登攀 計画段階からタイムスケジュールなど入念に検討

18日20:30出発 二子山近くの「道の駅」にテント泊

19日5:30起床 二子山登山口へ移動

7:00登山口より入山 中央稜取り付きに向かう

取り付きに到着 中央稜の1ピッチ目を探しながら準備

8:00 1ピッチ目 鈴木リード ルートを探りつつ 久々の石灰岩の感触を確かめるように登る

緊張が徐々に快感に変わる

ルート図通り1つめ終了点を越えて2つめ終了点でピッチを切る

8:30 2ピッチ目 常谷リード 私的には やはりフォローは緊張感が少し緩和され 楽しく快適に登る

9:10 3ピッチ目 鈴木リード 中央稜の核心ピッチ ボルトもあるが クラックにカムを決めながらの
V級リード さすがになかなか厳しい・・・でもグレード的に自分に登れないはずはない！

自分ガンバっ！！ とA0なしで気合で切り抜け 上部テラスへ・・・

ここからは二人とも初のエリア ルートを入念に探り

10:05 4ピッチ目 常谷リード なかなか易しくない登りで フォローで登っても

リードした常谷さんの頑張りが感じられる

10:30 5ピッチ目 鈴木リード 残置ハーケンやボルトがあまりなく カムや 岩穴などに支点をとりながら
終了点を探しつつ 弱点をつきながら登る 左上部にピッチの終了点発見

ちょっとランナウトしたかな？と思いつつも ロープが重くなる程でもないので 想定範囲内かな？
とピッチを切る

11:05 6ピッチ目 常谷リード 楽しめる登りで快適に登攀

11:25 7ピッチ目 鈴木リード 草付きⅡ級の易しい登りで 同時登攀も可能かと思ったが
そこは慎重に ビレイしてもらう

1箇所だけ灌木に支点をとったが まもなく稜線の終了点に付く 11:45登攀終了
稜線をたどって 12:00二子山西岳山頂へ！！

やりました！！二子山中央稜リベンジ！！！！！！

自分でも会心の登りで大満足です

山頂では後続パーティが6ピッチ目をのぼっていたのが見え 私達もここを登攀してきたのかと思うと
漫画「岳」の三步風に言えば「よく頑張った」と思う

休憩しながら簡単にランチを済ませ 12:40 下山開始

下山ルートは一般ルートだが 普通の縦走ルートと 上級者向け危険なルートがあるらしい
役員の皆様に 体力気力が残っているなら 上級者ルートの体験を進められていたので
充分残っていると判断しチャレンジする
はじめはこんなもん？とか思ってたが いきなりええ～～これ？？と思うほどの岩場がでてきた
ホールドとスタンスがはっきりしているというだけで完璧な岩壁である
確かに危険なルートで せっかく無事登攀したのに ここでケガしてはいけないと 慎重にクライムダウン
無事13:20無事下山
駐車場でコーヒをいれてもらい 至福の一杯を頂き たっぷり休憩 一路金毘羅岩方面へ…
温泉で疲れをいやし 秩父名物？ミソ豚丼を頂きお腹も大満足
スーパーでビールと明日の朝食を調達し「道の駅」で 二子山の登攀成功を祝い乾杯！
いろいろおしゃべりしながら 就寝

ここからは おまけ報告となりますが・・・20日6:00頃起床し
金毘羅岩に向け出発！初のエリアで まず最初に金毘羅岩が見つかるのか不安だったが
なんと道路から杉の木越し岩が丸見え！アプローチ1分？(笑)
やさしめのボーイズロックでフリーを楽しむ
のんびり婆や 5. 9 マスターオンサイト
みみず 5. 10a ルート取りが核心という難しい10aでフラッシュならず
とりあえずテンションかけつつマスターでトップアウトする
なんじゃもんじゃ 5. 10a マスターオンサイト
せっかち姐や5. 11a 2ピン目までは探れたが 3ピン目がムーブ探れず敗退
なかなか私には「11は一日にしてならず」である
11敗退でかなりお疲れモード 時間も夕刻にせまりつつあるので最後の1本 春眠5・10aロングルートで
最後にハングを乗り越すなかなか厳しいルートだが マスターでフラッシュする
無事フリーも楽しめ 大満足の2日間となりました

至らないリーダーであったかもそれませんが メンバー常谷さんと頑張れた
自分でも 充実の二日間になりました